

THE ROOF

郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ

2010.7.20 Vol.36

Norman Rockwell

ノーマン・ロックウェル展

In Search of Norman Rockwell's America

2010年9月18日(土)~11月7日(日)



キャンプからの帰宅 1968年 油彩、キャンバス Licensed by Norman Rockwell Licensing, Niles, IL.
 Exhibition organized by Kevin and Michele Rivoli and tour organized by International Arts & Artists, Washington, DC. APT International organized tour in Japan.

開館時間 / 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

主催 / 郡山市立美術館 後援 / アメリカ大使館

協力 / 日本航空、津田塾大学

企画協力 / 産経新聞社、アプトインターナショナル

観覧料 / 一般900(720)円 高校・大学生500(400)円

※()内は20名以上の団体料金

中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料

自然への愛から生まれたピーターラビット®

ビアトリクス・ポター™展

2010年7月17日(土)~9月5日(日)



カリフラワーと手紙を持つピーター
 フレデリック・ワーン社蔵
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co

開館時間 / 午前9時30分~午後5時(最終入館は午後4時30分)

夜間開館 / 7月24日以降の毎週土曜日は午後8時まで(最終入館は午後7時30分)

休館日 / 毎週月曜日(7月19日(月))は開館、翌日20日(火)休館

観覧料 / 一般800(640)円 高校・大学生500(400)円

※()内は20名以上の団体料金

中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料



ビアトリクス・ポター 1892年

BEATRIX POTTER™

自然への愛から生まれたピーターラビット®

ビアトリクス・ポター™展

2010年7月17日(土)~9月5日(日)

開館時間 / 午前9時30分~午後5時(最終入館は午後4時30分)
 夜間開館 / 7月24日以降の毎週土曜日は午後8時まで(最終入館は午後7時30分)
 休館日 / 毎週月曜日(7月19日(月)は開館、翌日20日(火)休館)
 主催 / 郡山市立美術館、テレビユー福島
 特別協力 / 国立ヴィクトリア アンド アルバート美術館、フレデリック・ウォーン社
 協力 / フリーライブラリー・オブ・フィラデルフィア、
 プリンストン大学図書館コトス・ナルドレンズ・コレクション、
 ビアトリクス・ポター・ソサエティ、リンダ・リア、辻丸純一、
 河野芳英(大東文化大学英米文学科教授)、
JAL 日本航空、日本通運、コピーライツアジア株式会社
 観覧料 / 一般800(600)円 高校・大学生500(400)円
 ※()内は20名以上の団体料金
 中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料

『ピーターラビットのおはなし』は知らなくても、だれもがどこかでピーターに出会ったことがあるのではないのでしょうか。テレビ番組や雑誌などでピーターラビットが紹介されることもよくあるので、もしかしたら絵本の主人公だと知らない方もいるかもしれません。ピーターラビットの作者ビアトリクス・ポター(1866~1943)は、ロンドンの裕福な家庭に生まれ育ちました。幼いころから身近な対象を観察してスケッチすることが得意で、虫やペット、花や風景な

ど、克明な水彩画を数多く残しました。一時はきのこの観察に没頭し、研究者をめざして論文にまとめたこともありました。こうした観察眼や描写力が、やがてピーターラビットのシリーズを生み、絵本はたちまち人気を博すことになりました。40代以降はロンドンを離れてイギリス北東部の湖水地方に住んで、美しく豊かな自然の中で農場経営にあたりながら、ナショナル・トラスト運動に参加するなど自然保護に尽力しました。

今回の展覧会では、ビアトリクスの描いた水彩画や絵本の下絵をはじめとして、父が撮影した少女時代のポートレートなどの写真や手紙といったさまざまな資料を加えて、彼女の生涯をご紹介します。ピーターラビットが生まれた背景や、自然保護や著作権などへの関心といった現代に通じる意識をもった人物像を知ると、その作品世界がさらに魅力を増して理解されることでしょう。会場ではまた、ビアトリクス自身が監修したぬいぐるみやゲーム



Exhibition organised in collaboration with Frederick Warne & Co. and the Victoria and Albert Museum, London
 BEATRIX POTTER™ and PETER RABBIT™ © Frederick Warne & Co., 1910
 Frederick Warne & Co. is the owner of all copyrights and trademarks in the Beatrix Potter characters names and illustrations
 www.peterrabbit.co.jp
 Images reproduced by permission of Frederick Warne & Co.



ヤグルマンソウとヒナギク
 1881年 水彩鉛筆画
 国立ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵
 Victoria and Albert Museum, London, Linder Bequest
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co.

ヤマイグチ属のキノコ2種
 1897年 水彩ペンインク鉛筆画 国立ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵
 The Trustees of the Linder Collection
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co.



ベンジャミン・バニー父子の八百屋さん
 1891年 水彩ペンインク画
 国立ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵
 Victoria and Albert Museum, London, Linder Bequest
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co.



ヒルトップの玄関にいる
 ピーターラビットとベンジャミン・バニー
 1930年 水彩ペンインク画、フレデリック・ウォーン社蔵
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co.



『のねすみチュウチュウおくさんのおはなし』
 チュウチュウおくさんとハサミムシの下絵
 1910年頃 水彩セピアインク墨鉛筆画
 国立ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵
 The Trustees of the Linder Collection
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co.



『ごぼたのピグリン・ブランドのおはなし』
 ピグリン・ブランドとアレクサンダーの下絵
 1910年頃 水彩ペンインク鉛筆画
 国立ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵
 The Trustees of the Linder Collection
 Reproduced by permission of Frederick Warne & Co.

学校との連携事業

学校行事での見学・鑑賞の対応のほか、夏休み恒例となった「風土記の丘の美術展」をはじめ、学校の先生方との交流に基づいたさまざまなかたちでの連携事業に取り組んでいます。今年の夏は高校生を中心とした読み聞かせボランティア・グループとのコラボレーションも実現します。

第9回風土記の丘の美術展 郡山市内の小学生による作品展

2010年7月19日(祝)～8月22日(日)
主催:郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会
場所:展示ロビー
時間:9:30～17:00
(7月24日以降の毎週土曜日は20:00まで)



入場無料

子どもたちが学校の授業で作った作品が美術館に飾られます。みずみずしい感性と、パワーあふれる作品たちは、見る人の心をきっと元気してくれることでしょう。ご家族そろってぜひごらんください。
(市内を5ブロックに分けて展示するため、1週間ごとに展示替えがあります。)

夏休みワークショップ 「風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ!パートV」

2010年8月7日(土)
講師:郡山市内の小中学校の先生
場所:多目的スタジオなど
午前の部:11:00～12:00
午後の部:14:00～15:00
各クラスとも先着20名 予約はいりません。
○小学生クラス1「ファッションショー2010 サマーコレクションin 風土記の丘」
○小学生クラス2「風と音のハーモニー:おしゃれなモビールを作ろう!」
○中学生クラス「スーパー系のごドライブ～木の立体パズルを作ろう～」



参加無料

チャイムが鳴ったら「授業」の始まりはじまり。現在、小・中学校で行われている図工や美術の授業が体験できるワークショップです。大人のみなさん、大歓迎です!

おはなし会 会場:講義室ほか

2010年7月31日(土)
① 11:00～
あさか開成高校読み聞かせボランティア部オイガ、
郡山第一中学校有志
② 14:00～
オイガ、須賀川養護学校読み聞かせボランティア部ミコラソン
平成22年8月21日(土)
① 11:00～
オイガ、郡山第二中学校有志
② 14:00～
オイガ ゲスト:岩崎京子さん(児童文学者・作家)



参加無料

Report 風土記の空

2009年11月7日(土)～12月27日(日)
参加校:逢瀬中学校、守山中学校、
郡山第一中学校、緑ヶ丘中学校、宮城中学校
郡山市内の中学生の作品展。美術部と選択美術の生徒たちが展示もおこないました。
※今年も秋に開催予定です。



イベント

「ピーターラビット® エコステージ」

先着100名 参加無料
2010年8月8日(日)
①11:00～ ②14:00～
場所:多目的スタジオ

ピーターラビットとベンジャミンバニーが
繰り広げるステージショー。ピーターとベ
ンジャミンと一緒に楽しくエコを学ぼう!



板など、現代のキャラクターグッズの先駆けともいえる出品作が展示されます。自分の描いた物語の主人公たちがより広く愛されるように、そしてその存在が大切に守られるように、グッズ開発にもかなりこだわったというビアトリクス。先進的でユニークな彼女の発想は、キャラクターグッズ大国ともいえる現代の日本に暮らす私たちに、とっても新鮮に感じられるのではないのでしょうか。

この夏は緑に囲まれた美術館で、ピーターラビットを生んだビアトリクスポターとの出会いをお楽しみください。風土記の丘の草むらから、ピーターやベンジャミンたちが顔をのぞかせるかもしれません。子供から大人まで楽しめるイベントも盛りだくさん。夏休み恒例の夜間開館や小学生の作品展もあわせてご利用ください。きつとすてきな夏の思い出になることでしょう。

(中山恵理)

講演会

「イギリス、この美しき田園の国」

2010年8月1日(日) 14:00～
講師:林望氏(作家・書誌学者)
場所:多目的スタジオ

「イギリスはおいしい」をはじめとして英国関係の著書も多いリンボウ先生に、ポターに見る英国人らしさを語っていただきます。



ギャラリートーク

2010年7月24日(土)・9月4日(土) 14:00～
講師:当館学芸員
場所:多目的スタジオ
会場での作品解説となるため、企画展チケットが必要です。

美術講座

2010年8月28日(土) 14:00～
講師:当館学芸員
場所:講義室
当館所蔵品との関連を含め、ポターの生涯や出品作品についてお話します。

参加無料



ノーマン・ロックウェル『待ちきれないなあ!』 1962年 油彩、キャンパス
Licensed by Norman Rockwell Licensing, Niles, IL



ケヴィン・リヴォーリ『戦争へ』 2004年
Photo ©Kevin Rivoli

突然ですが、みなさんは「アメリカ」と聞いて、何を連想しますか？ 広大な自然、多民族国家、自由の国、大量消費、銃、……アメリカっぽい」という何かしらのイメージをお持ちではないかと思えます。

今回の展覧会で紹介するノーマン・ロックウェル(1894~1978)は、そんなアメリカを代表する画家でありイラストレーターです。彼が描いたのは、特別な世界ではなく、アメリカの普通の人々の、普通の生活だったと言われています。しかし、そのドラマティックな作画を「理想化された世界を描いている」と、このような世界は存在しない

のではと批評する声もありました。ロックウェルの描く世界が、特別なものではなく、身の回りにあるものだという事を示したのが、今回の展覧会で彼の作品と対になって展示される写真を撮影した写真家ケヴィン・リヴォーリ(1961~)です。彼はロックウェルに触発されながら、写真という媒体をとおして自身のアメリカのイメージを浮き彫りにしました。会場で、ロックウェルの絵画作品と、リヴォーリの写真を一緒に見ていただけると、確かに共通するものがあるように感じられます。では、その感覚をもたらしめるのは何でしょうか。

だれにでも、ふたりのような作品が作りだせるわけではありません。ロックウェルには、卓越した描写力があります。ひとの姿形をそのままうまく描きだすことは、努力すればある程度できるのかもしれませんが、彼はそれ以上に、家族や友達、恋人といった人々のつながりを描き出すことに成功しています。同じようにリヴォーリの写真の中にも、人々のつながりが瞬時にとらえられており、彼自身の長年の経験と努力のたまものといえます。二人に共通する感覚のヒントは、人というテーマにあるようです。

ノーマン・ロックウェル展 In Search of Norman Rockwell's America

2010年9月18日(土)~11月7日(日)

開館時間 / 午前9時30分から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

主催 / 郡山市立美術館

後援 / アメリカ大使館

協力 / 日本航空、津田塾大学

企画協力 / 産経新聞社、アプトインターナショナル

観覧料 / 一般900(720)円 高校・大学生500(400)円

※()内は20名以上の団体料金
中学生以下、65歳以上の方、
障がい者手帳をお持ちの方は無料

In Search of Norman Rockwell's America

ロックウェル、リヴォーリ… ふたりの「アメリカ」



さて私たちの中には、ロックウェルという画家のことをよく知らなくても、「こんな感じの絵は見たことある」という人がかなりいると思います。惜しいことに、アトリエの火災により、彼の戦前のかなりの作品が焼失してしまいました。彼の作品の多くはアメリカ本国にあるノーマン・ロックウェル美術館が所蔵しており、彼の油彩の原画などにはなかなか出会うことができません。しかし、様々な媒体を通して、ロックウェルの作品世界は、私たちの中に根付いています。

日本でも、某百貨店の紙袋などにサンタの絵が使われたり、カレンダーや版画やグッズ類の絵柄になつたりして私たちになじみがあると思います。アメリカ本国でも、「サタデー・イブニング・ポスト」など雑誌の表紙絵や、様々な広告を手がけることでその作品世界が人々に受け入れられていきました。つまり、美術館でありがたく作品をおがめる有名画家ではなく、さまざまな媒体を通して日常生活に浸透する、という形をとって、私たちになじんでいた画家であったと言えます。そしてその事はリトグラフやコロタイプなどの版画を含めた、印刷など複製の文化がいかに美術の浸透に大きな役割をはたし、それ自らも重要な芸術作品たり得るかを示しているように思います。

それほどまでに彼のイメージが私たちを惹きつけるのはなぜでしょう。先にのべた、そこに生きる人々の互いの関係、それが全体として肯定的なものであり、人間愛を根底においているからではないでしょうか。ちょっと哀切に満ちていても、明日への希望がある。幸せは、きっといつか訪れる。そんな人々の前向きな精神があるように思います。そして、それ自体が古き良きアメリカの精神であり、国境を越えて人々の心をあたたくする健全な精神なのかもしれません。社会全体に閉塞感漂う今日のごころ、ロックウェルとリヴォーリの作品に接すると、「今の生活にも、幸せがみえるかもしれない。」「明日もまた、がんばってみよう」という気持ちになるかも… しません。

(中川原有紀)



◀上から

ノーマン・ロックウェル〈トミーのドラム〉 1921年 油彩、キャンパス
©1921 SEPS

ノーマン・ロックウェル〈たくさん召し上がれ(生活の自由)〉 1972年 カラーリトグラフ
©1972 SEPS

ケヴィン・リヴォーリ〈感謝でいっぱい〉 1996年
Photo ©Kevin Rivoli

「美のおもちゃ箱展」を終えて

河野保雄

(音楽評論家・美術品コレクター)

「百点美術館」を閉館して丸四年、大方の作品を開放してはみたものの、絵画好きの心まで閉ざすわけにはいかない。いつの間にか、また多くの作品に囲まれる日々になってしまった。味わいは多種多様だが、いずれもどこか懐かしみのある小品ばかり。それはまるで年を経た私の心があるゆるものから開放されるのびやかに変わった証のようでもある。そんな遊び心がぎゅっと詰まった本、それが「美のおもちゃ箱」だ。嬉しいことに郡山市立美術館がその「本」を展覧会にしてくださいとう。

初日は三分咲きの桜の上に雪が降り積もり、美術館の辺りには春の芽吹きが配すらない。しかし中に入ると明るく暖かく、いきなり「チェロを弾く男」が目に見え込んできた。展示

が絶妙で作品が生き生きしている。「へんなぞう」の初山滋は四歳の時に、清楚でロマンチックな竹久夢二是小学五年生の時に、長谷川利行を中心に絵画を幅広く教えて下さった吉井忠とは十五、六才の時に出会い、それはまるで私の絵画鑑賞の成長記録を見る思いだった。力を入れて蒐めたガラス絵も、それぞれが小さい画面いつぱいに輝いている。会場には中原淳一と同列に並び近代洋画の巨匠たち。私はこの近代という文化が激変した明治以後の知識人たちの懊悩、とりわけ画家たちのその軌跡に未だに取り付かれています。戦いに敗れる者、一見成功したようであるが彷徨を続ける者、病に倒れる者、一心不乱のその先に力強く緊張感があり、それゆえに危うげで、はかなげで、

だがどこか透徹した画面が表れる。強い心で追求し表現し伝えたい、そんなテーマのあった時代の幸福であったのか、昨今の世の中を見るにつけ、ふとそんなことが頭をよぎる。今回のコレクションには、そんな彼らがふと力を抜いて思わず筆を走らせた味のあ作品が並ぶ。永遠のテーマを描ききった野田英夫の『少女』に、まさに純心無垢な「愛」を感じる。こんな絵に出会った時は、私の心の隅に眠るなつかしみのかけらをひとつ見つけたような喜びを感じるのだ。

私の極上の一ヶ月が終わる五月中旬、美術館は若々しく匂うような新緑に包まれていた。

絵からきこえてくるもの 美のおもちゃ箱展 河野保雄のコレクション

2010年4月17日(土)~5月16日(日)

会場 / 郡山市立美術館企画展示室

主催 / 郡山市立美術館

河野氏によるギャラリー・トーク

講師 / 河野保雄氏

日時 / 平成22年5月3日(月・祝) 午後2時から

場所 / 郡山市立美術館企画展示室



▲河野氏によるギャラリー・トーク

▲野田英夫〈少女〉1936(昭和11)年 油彩・キャンバス(個人蔵)

スウィングン・ロンドン 50's-60's

ービートルズたちが輝いていた時代ー

2010年5月22日(土)~7月4日(日)



1950年代から60年代にかけてイギリスで流行したファッションや音楽などのライフスタイルを紹介する展覧会を開催しました。ロビーには、「ミニ」や「ロータス・エリート」などの自動車やスクーターが並び、会場にはトランジスタラジオやテレビなどの家電製品、家具やテキスタイルデザイン、当時流行のファッションなどが展示されました。

ちようど、ロック・

ミニシックが生まれた熱い時代！イギリスからはビートルズやローリングストーンズ、ザ・フーなどのバンドが次々にデビューし、世界へと羽ばたいていきました。こうした現象は、「ブリテッシュ・インヴェイジョン」と呼ばれ、全



コンサート



「ミュージアム・コンサート
有元利夫によせて」

2010年3月6日(土)

出演：立花千春(フルート) 山田武彦(ピアノ)



「ミュージアム・コンサート ロシアの心」

2009年11月14日(土)

出演：岸本力(バス歌手) 毛塚功一(ギター)

平成21年度後半には、「国立トレチャコフ美術館展 忘れえぬロシア」と「没後25年 有元利夫展―天空の音楽―」のそれぞれにあわせてコンサートを開催。晩秋の夜空にロシア民謡が響いた「ロシアの心」では、終盤にはおなじみの曲を会場全体で合唱して盛り上がりました。また「有元利夫によせて」では、音楽を深く愛した画家が好んだ曲やそんな画家へのオマージュとして捧げられた曲など多彩な内容でお楽しみいただきました。

ワークショップ



「サンドブラスト技法を楽しむ」

2010年3月27日(土) 10:00~17:00

講師：安田れい子さん(ガラス作家)

サンドブラストの技法を用いて、石やガラスでペーパーウェイトなどを制作。個性豊かな作品ができあがりました。



春休み親子ワークショップ

「ふしぎな「からくりボックス」を作ろう!」

2010年3月21日(日) 10:00~15:00

講師：斎藤真紀さん(造形作家)、斎藤裕子さん(造形作家)

所蔵作品「おびからくり」(版画家・秋山泰計作)の原理を使って紙の立体作品に挑戦する第2弾。多くの親子連れでにぎわいました。



「初心者のための木口木版画」

2009年10月3日(土)、4日(日) 10:00~17:00

講師：野口和洋さん(版画家)

「版で発信する作家たち2009」関連事業として、ふだんはあまり経験する機会のない木口木版画に親しむための講座。



Jimmy SAKURAIさんによるギタークリニック

6月6日(日)



鮎川誠さんとシーナさんによるトークショー

6月12日(土)

「Jimmy SAKURAI 狂熱のクリニック」を開催し、エレキギター奏法の実演と解説をおこないました。「天国への階段」「レイン・ソング」などのレッド・ツェッペリンの名曲のギター奏法の実演で、会場は熱狂の渦に巻き込まれました。

また、トークショー「60'sロック談義」では、シーナ & ザ・ロケッツの鮎川誠さんとシーナさんによる対談を開催。ビートルズやローリングストーンズの音楽と出合った時の衝撃や、お二人のロックミュージックにかける熱い想いを語っていただきました。

(佐藤 秀彦)



米をはじめ世界のミュージック・シーンに大きな影響を与えたのです。

本展には、エレキギターやアンプなどの楽器やレコードジャケットがずらりと並び、当時を振り返ることができました。さらに、レッド・ツェッペリンのギターリストであったジミー・ペイジ氏本人から出品されたステージ衣装やエレキギターなども多数展示され、大勢のファンが訪れていました。

展示会の関連行事として、公開ワークショップ

イベント

「美術館マルシェ～農はアートだ!～」

8月22日(日)10:00～16:00

美術館前庭

郡山市農政課、郡山農業青年会議所、郡山農学校、郡山市立美術館友の会一つ一つが個性あふれる魅力をもった農作物。各生産者によって創出されたアートでもある郡山産の農作物の魅力を紹介し、新鮮な夏野菜の買い物も楽しめます。



ミュージアムシアター

「英国ロイヤル・バレエ団
ピーターラビットと仲間たち」

8月14日(土)・15日(日)

参加無料

10:00～15:50

(上映時間76分、リピート上映)

多目的スタジオ

ピーターラビットと仲間たちがバレエの舞台上で活躍します。



© Johan Persson

「ミス・ポター」

参加無料

8月29日(日)①11:00～②14:00～(上映時間93分)

多目的スタジオ

ビアトリクス・ポターの生きた時代と彼女の波乱にとんだ人生を丁寧に映画化。絵本のキャラクターたちもアニメーションで登場します。



© UK film Council/Hopping Mad Distribution (IOM) Ltd. 2006 All Rights Reserved



トマス・ガーティン〈エクセター大聖堂〉
1798年頃 水彩紙



中山颯く花鳥B〉
1934年 油彩・キャンバス

常設展示のご案内

■7月22日(木)から10月17日(日)まで

- 展示室1 イギリスの豊かな自然
 - 展示室2 いきものへの眼差し
 - 展示室3 現代美術を楽しむ
 - 展示室4 明治の新聞付録
- ガラスの美

■10月20日(水)から

- 展示室1 英国19世紀末と日本
 - 展示室2 蜷川式胤と亀井至・竹二郎
 - 展示室3 版で発信する作家たち part 1
 - 展示室4 版で発信する作家たち part 2
- 『北斎漫画』と工芸デザイン

T O P I C S

○夜間開館をご利用ください。

7月24日・31日・8月7日・14日・21日・28日・9月4日



「ビアトリクス・ポター展」会期中7月24日以降の毎週土曜日は夜8時まで開館します。(入館は午後7時30分まで)

この夜間開館時(午後5時から8時)の来館者には、ポストカードプレゼント!

静かで涼しい展示室で、暑い夏の夜をゆっくりお過ごしください。

○東久世秀禮様から『牧野虎雄デッサン集』他全24冊、佐藤昭一様から『美術手帖』、『芸術新潮』他をご寄贈いただきました。

カフェ「フローラ」

「ビアトリクス・ポター展」開催中は、特別メニュー「ピーターラビットのお茶セット」(420円)が登場。風土記の丘の美しい緑を眺めながら、ピーターも飲んだカモミールティーとイギリス伝統のお菓子・ショートブレッドでひと時をお過ごしください。もちろん、クロワッサン、クリームをたっぷりつけた人気のスコーンで紅茶もお楽しみいただけます!



□営業時間/10:30～18:30
(ラストオーダー18:00)
□電話/024-942-2212

郡山市立美術館 〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL:024-956-2200 FAX:024-956-2350
Koriyama City Museum of Art
郡山市立美術館ホームページ <http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijyutukan/>